

株主通信

第73期

2023年3月1日～2024年2月29日



神戸港へ。(神戸市・ポートアイランド周辺)

TOPICS ①

阪神電車において、車両広告ジャックなど交通広告を展開

阪神電車の交通広告媒体を活用し、企業広告「FURUNOを知ってほしくてシリーズ」を2024年1月から掲出しています。阪神西宮駅をはじめ、大阪梅田～山陽姫路間の駅構内や駅前地下通路、車両内など広範囲にわたり企業広告を展開。企業広告の最新作で使用した「ふるの?ふらないの? FURUNO!」というキャッチフレーズは、「やるの?やらないの?」と迷ったときも果敢に挑戦する当社の姿勢を表現しています。今後も、企業広告を通じて当社の魅力を伝え、親しみを感じていただくとともに、企業ブランド価値の向上に努めてまいります。



サステナブル経営の実現を目指すため、
フェーズ2 中期経営計画に取り組んでいます。



代表取締役
社長執行役員 兼 CEO
古野 幸男

商船向け市場の需要がアジアや欧州で
好調を維持しました。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、経済活動の正常化への流れが継続する一方、ウクライナや中東情勢など地政学的リスクの高まりやインフレの進行等、先行き不透明な状況が続きました。わが国では、個人消費を中心に内需が低調で、景気の回復に足踏みがみられる状況です。

こうした中、当社グループの関連する市場において、船用分野のうち商船向け市場では、新造船の受注環境は資材価格の上昇等のため軟調ながら代替燃料船の需要が増加傾向で、手持ち工事量は高い水準を維持。漁業向け市場では、国内や北米、欧州で需要が堅調に推移し、プレジャーボート向け市場でも、北米、欧州で需要が好調を維持しました。産業用事業では、新車および中古車販売台数は堅調に推移。ヘルスケア市場における機器設置需要も堅調に推移しました。一方、国内の教育ICT市場においては、ICT整備に関する大型案件が減少し、低調に推移しました。

増産の推進、価格マネジメントの結果、
前年同期の業績を大幅に上回りました。

当社グループは、部材調達環境の回復を背景に、高水準の受注残の解消と納期の正常化に向け、増産を推し進めました。また、生産ラインの効率化や部材価格高騰に伴うコスト上昇分の販売価格への転嫁等の価格マネジメントを各地域において展開し、利益の適正化に努めました。

これらの結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前年同期を大幅に上回りました。

当社グループは、利益水準の向上、売上規模の拡大による成長投資の資源捻出、サステナブル経営の実行を主な基本施策とする中期経営計画（フェーズ2）に当連結会計年度より取り組んでいます。

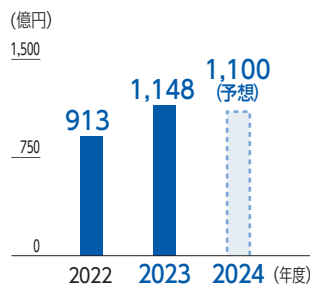
株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2024年5月

連結業績ハイライト (第73期)

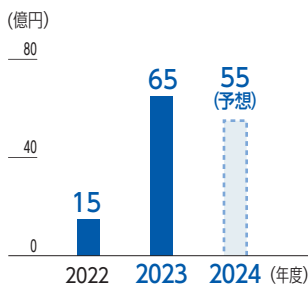
売上高

1,148 億円
前年比 25.8%増 ▲



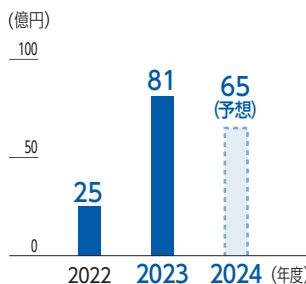
営業利益

65 億円
前年比 327.8%増 ▲



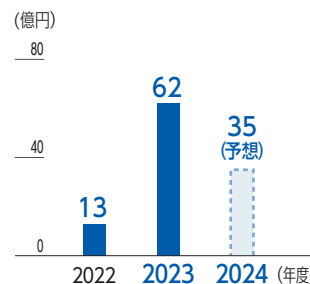
経常利益

81 億円
前年比 215.0%増 ▲



親会社株主に帰属する
当期純利益

62 億円
前年比 362.8%増 ▲



配当について

当期の期末配当金につきましては、1株当たり40円とさせていただきます。これにより、中間配当金の1株当たり20円と合わせ、年間配当金は1株当たり60円となります。

船用事業

売上高

981億円

セグメント利益

71億円

主な
製品

- 航海機器
- 無線通信装置
- 漁労機器

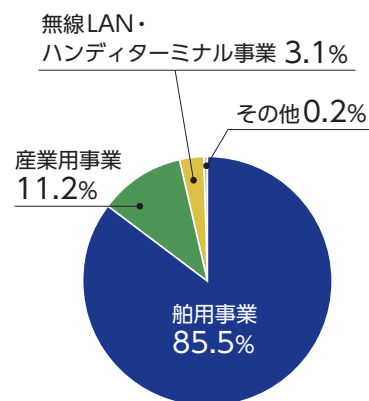


FSV-25 MARK-2

■北米で主にプレジャーボート向けおよび漁業向け機器の販売が増加。欧州では商船、プレジャーボート向けに加え、漁業向け、保守サービスでも売上が順調に増加しました。

■アジアでは商船向け市場で新造船の案件が大きく増加し、日本でも商船向けの新造船案件や漁業向けの販売が増加しました。

事業別売上高構成比



産業用事業

売上高

128億円

セグメント利益

2.4億円

主な
製品

- 医療機器
- GPS機器
- ETC車載器

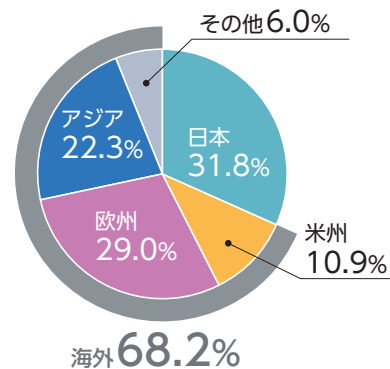


デュアルバンドGNSS受信チップ
eRideOPUS 9 ePV9000B

■携帯電話基地局向けのGNSS時刻同期製品の外、ETC車載器、OEM受託製品の販売が増加しました。

■ヘルスケア事業の生化学分析装置の販売も増加し、防衛装備品事業の販売も大きく増加したことから増収となりました。

地域別売上高構成比



無線LAN・ハンディターミナル事業

売上高

35億円

セグメント利益

1.3億円

主な
製品

- 無線LAN機器
- 無線ハンディターミナル



Wi-Fi6対応アクセスポイント
ACERA1320

■主に文教向けの無線LANアクセスポイントの販売が減少したことから減収となりました。

詳細な財務情報はフルノ企業情報サイトをご覧ください。

<https://www.furuno.co.jp/>
>IR・投資家情報

TOPICS ②

「健康経営優良法人(ホワイト500)」に6年連続で認定

「健康経営優良法人認定制度」は、特に優良な健康経営を実践している企業を経済産業省が顕彰する制度です。健康経営度調査結果の上位500社のみが「ホワイト500」として認定されます。社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践しているフルノの姿勢・健康経営への意識の高さが認められ、毎年回答社数が増える中、6年連続で「ホワイト500」に認定されました。社員の健康保持・増進を図る施策に取り組むことで、組織の活性化・生産性の向上・ウェルビーイングの実現をもたらし、ひいてはフルノの持続的成長に繋がるものと考えております。今後も引き続き、社員が健康で充実した日々を過ごせる健康経営を推進してまいります。



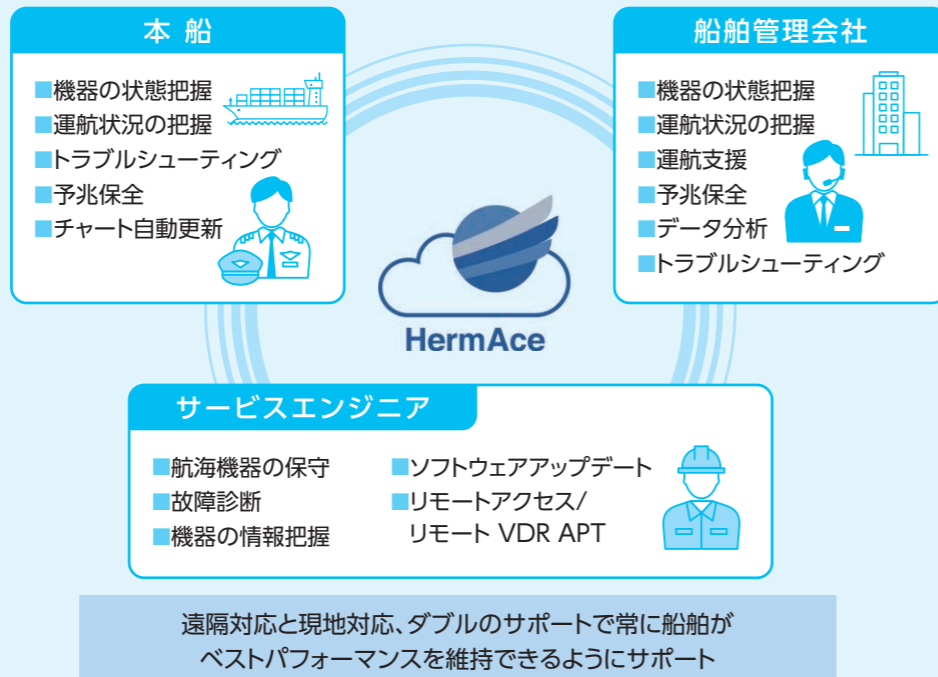
2024
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

特集-1

「HermAce」は、航海機器の稼働状況を陸上で常時可視化！

リモートモニタリング&トラブルシューティングプラットフォーム「HermAce」(ヘルムエース)は、船舶に搭載している航海用電子機器や通信機器の稼働状況を常時モニタリングし、セキュリティを担保しながら運行中の船舶を陸上からサポートすることが可能です。

豊富な経験とメーカーならではの技術的な知見をデジタル化したFuruno Tipsにより、充実したトラブルシューティングが可能となり、アラート発生時にお客様自ら迅速に初期対応を行うことができます。またHermAceは船内ネットワークにおけるセキュリティを担保しながら、お客様のニーズに応じて、航海機器情報の配信やチャートの自動更新、遠隔での設定変更やソフトウェアアップデート、さらにはVDRのリモート年次検査などが可能で、船舶のパフォーマンスの向上、および効率的な運航を支援します。



リモートサービス導入によるメリット

リアルタイムの状況確認により、的確な操作指示をご提案。解決時間の短縮化とリモート解決による効率化により、乗組員様、船舶管理会社様のご負担軽減に寄与します。

乗組員様のご負担軽減

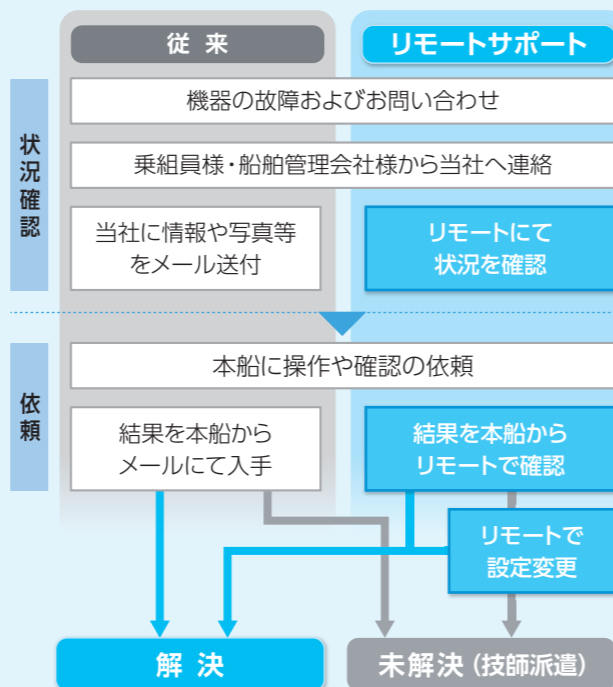
トラブル発生時のやり取りの回数軽減

問題発生時に当社がリモートアクセスにてリアルタイムに状況を把握。トラブル解決に向けた操作のご提案までの時間を短縮いたします。現状把握のための写真撮影やログデータ等の入手、メール送付などの乗組員様の手間を削減します。

船舶管理会社様のご負担軽減

訪船サービスにかかる負担の削減

軽微なトラブルであれば、リモートによる設定調整・変更により技術員を派遣することなく、問題を解決します。技術員派遣の工数や移動費の削減、訪船のための調整などの負担軽減に貢献します。



特集-2

海を好きになってもらい、豊かな海を未来につなげていきます

サステナブルな活動で、社会とつながりたい

当社は海に育てられた企業として、新たに「FURUNO海を未来にプロジェクト」を立ち上げて、啓発・技術の両面から「海を好きになってもらう活動」「海を守ろうとする活動」を推進しています。



身近な海の魅力を伝えることで「好きになってもらう」、好きになったものは「守りたいと思う」。一人でも多くの行動を後押しすることで豊かな自然を守り、海を未来につなげていきます。

海を未来にプロジェクト活動例のご紹介

◆公式アンバサダー「さかなのおにいさんかわちゃん」トークショー&ワークショップ

さかなのおにいさん かわちゃんを公式アンバサダーに起用し、「こどもが魚を好きになれば海は綺麗になる」をテーマに、さまざまな場所でイベントを開催。身近なお魚に関するクイズやワークショップなどを通じて、こどもたちに海の魅力や楽しさを伝えています。



みやっこオープニングフェスティバル (西宮浜総合公園)

◆日本財団主催の「スポGOMIワールドカップ兵庫STAGE」に出場

西宮浜で開催された「スポGOMIワールドカップ兵庫STAGE」に協賛し、当社からは2チームが出場。企業として大きな目線で海の問題を解決していくことも当社のミッションですが、地域の方々と共に身近なことからコツコツと私たちの大好きな海を守る活動も推進していきます。



兵庫 STAGEで集められたごみの総量は106.48kg

◆「海洋インフォグラフィックコンテスト」に協賛

「海と日本プロジェクトin東京」主催の同コンテストでは、小学生の海に関する自由研究を美術学生がインフォグラフィックに仕上げ、海洋問題をわかりやすく伝えています。当社からは古野電気賞の授与のほか、当社ショールームやロビーでの作品展示など発表の場も提供しています。



古野電気賞プレゼンターの 矮松常務執行役員 (右)

◆子ども食堂 ネットワークを活かして、こどもたちにお魚の魅力

全国の漁港に拠点をもち、漁業関係者と深いつながりを持っている当社は、子ども食堂への支援を開始しました。こどもたちにお魚をもっと好きになってもらうことで、漁師～地域～家族の絆を活性化する活動を目指しています。



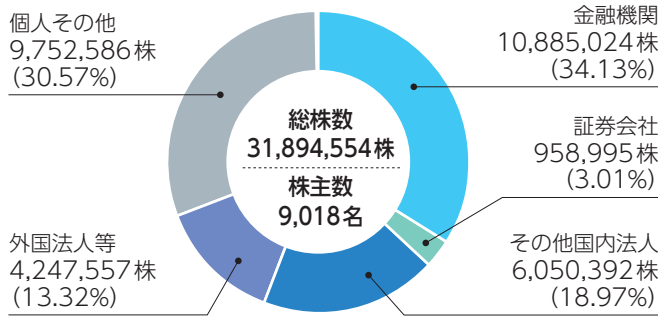
食材をご提供いただいた養殖業者さんと当社の社員



海を未来にプロジェクトでは、上記以外にもさまざまな活動を展開しています。詳細は特設サイトからご覧ください。
<https://www.furuno.co.jp/Portals/0/umiwomiraini/index.html>



■ 株式の状況 (2024年2月29日現在)



※個人その他には、自己株式306,209株(0.96%)を含んでおります。

■ 大株主の状況 (2024年2月29日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
古野興産株式会社	4,186	13.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,447	10.91
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,665	5.27
古野電気取引先持株会	1,078	3.41
第一生命保険株式会社	1,000	3.17
株式会社三菱UFJ銀行	992	3.14
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	942	2.98
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	809	2.56
エコ一興産有限会社	560	1.77
S M B C 日興証券株式会社	458	1.45

※持株比率は、自己株式306,209株を控除して計算しております。

■ 会社概要 (2024年2月29日現在)

社名	古野電気株式会社
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
資本金	7,534百万円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	3,356名(連結) 1,927名(個別)

株主様 WEBアンケートのお願い

ご回答いただいた
100株以上保有の株主様に
「FURUNOカレンダー
2025」をプレゼント!

当社では、本アンケートを株主様の動向を知るとともに、株主様の声を聞き、ご要望にお応えしていくための重要なコミュニケーションのひとつと考えています。お手数ですが、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

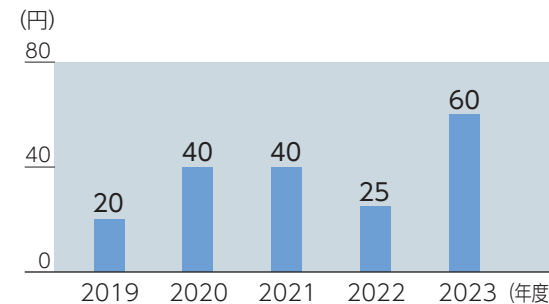
回答期限: 2024年6月30日(日)まで

<https://forms.office.com/r/YRkvY8TUWs>

※カレンダーは、2024年12月上旬に発送させていただきます。



■ 配当金の推移



株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月開催

基準日

定時株主総会 毎年2月末日

期末配当金 毎年2月末日

中間配当金 毎年8月31日

その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告 (<http://www.furuno.co.jp>)

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

単元株式数 100株

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 プライム市場

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理人

東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

みずほ信託銀行株式会社

同 連 絡 先
(お 問 い 合 わ せ 先)

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-288-324

(ご利用時間: 土・日・休日を除く 9:00 ~ 17:00)

お 取 扱 窓 口

お取引の証券会社
(特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店)

特別口座管理機関お取扱店

みずほ信託銀行

未 払 配 当 金 の お 支 払

みずほ信託銀行 本店および全国各支店

みずほ銀行 本店および全国各支店

